

3月8日には1年生が卒業生を囲む会を実施。各方面に進学、就職した卒業生が来校し、1年生が進路についての質問座談会



で様々な質問に回答してもらいました。1年生にとっては身近な先輩が自分自身の経験を踏まえて話をしてもらえたので、良いイメージを持つことができたのではないのでしょうか。卒業生の皆さんも自分たちの高校1年生の時の思い出しながら真剣に答えてくれていました。お忙しいところありがとうございました。

そして体育科の平野先生が陸上競技部全国大会出場に係る運動部指導者表彰を受け、西上教育長からレプリカを渡されました。校長室でも記念撮影を



させていただきました。母校での陸上競技部指導において専門性をいかに発揮され平成30年度には走高跳で全国優勝も成し遂げておられます。この度の受賞、本当におめでとうございます。また、同じ陸上競技部顧問の山田先生は、県教委から推薦していただき、文部科学大臣優秀教職員表彰を受けました。本来なら1月に文部科学省での授賞式に出席する予定でしたが、緊急事態宣言により中止になりましたので、校長室で授与させてい



きました。この度の受賞、誠にありがとうございます。この受賞を機にさらなる高みを目指して本校生徒の育成に力を注いでいただけるものと期待しています。よろしくお願いします。

さて3月も2週目に入りました。3学期は本当にあっという間に過ぎていきます。11日からは高校入試のため14日まで生徒は登校できません。気持ちを切り替えるにはもってこいの時間となります。3学期の振り返りと同時に1年間の振り返りをしてみましょう。4月・5月と登校の機会がほとんどなく、教育活動ができない状態のスタートからこ

までよく頑張ってくれたと思います。気持ちが切れそうになったり、しんどさを感じたりしたことあったかと思います。2月28日に2度目の緊急事態宣言が解除になり、部活動の制限も少しずつ緩和されています。3月8日以降は県内での練習試合も可能となり、3月24日以降は県外での練習試合や合宿も可能になります。引き続きの感染防止対策をしっかりとりながら、新型コロナ感染が始まる前の状態に戻していければと思います。幸い兵庫県の新規感染者数も少しずつではありますが減少傾向です。春の到来とともに明るい話題が多くなってくると思います。体調の維持管理には細心の注意を払いつつ活動の幅を広げていけるのではないかと思います。また今年1年、今まで当たり前だと思っていたことが当たり前でできなかった経験を今後どのように活かしていくか、試合やコンクール、行事も含め、「させていたでいる」ということはよくわかったと思います。多くの方が協力していただいたからこそ、できなかったことができるようになってきたことも実感できたことでしょう。感謝の気持ちをもって何事にも取り組んでいきましょう。また、私自身、この入試の時期になるといつも自分の高校入試の時を思い出します。そして自分の高校時代に思いを巡らせ、もっとこうしていればと反省することの方が多いのですが、あのときこう思えたから今も頑張れていると思うこともあり、それが結構自分の生き方の支えになっているような気がします。そして未熟だった故に偉そうなことを言っていた自分を恥ずかしく思うと共に、そういった時期だからそう考えるのも仕方がないと生徒を受け入れることができたこともあります。時がたたないとわからないことはたくさんありますが、振り返る時間を持つことで冷静に自分を受け入れることができるようになります。この休みを機会にそういった時間を持ち、次のステージに進む準備をしてきてください。よろしくお願いします。

そして「校長室から」も66号になり、昨年の64号を上回ることができました。今年も本校の取組や生徒の活動報告、その他社高校の情報を提供させていただきました。まだまだ十分でないところもあり、伝え方も考えていかねばならないと感じています。社高校で頑張っている生徒、職員の様子をもっと広報し、多くの方が関心を持っていただけるよう発信をしていきたいと思っています。社高校に対するご意見等もお聞かせ願えればと思いますので、よろしくお願いいたします。